

News 04 第 21 回アースデイ in 桐生 2026 に出展

日本銅センターは、日本鉱業協会と共同で 2026 年 4 月 19 日、群馬大学理工学部桐生キャンパスで開催された「第 21 回アースデイ in 桐生 2026」に出展した。本イベントは、子どもたちの未来により良い環境を残していくため、身近な環境から地球規模に至るまで考える総合的な環境イベント。日本銅センターは子どもたちに、限りある「銅資源」を有効に使うため、使用済みの銅製品の回収から再び銅製品としてリサイクルされるまでの流れを紹介した。



News 05 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2026に 参加

日本銅センターは、2026 年 7 月 26 日、サイエンス・デイ 2026 東北大学多元物質科学研究所非鉄金属製錬環境科学共同部門のブースに、住友金属鉱山、日本鉱業協会と共に参加した。

当ブースの出展プログラムは「銅ってすごい！活躍する金属：銅となかまたち」で、日本銅センターでは「銅の作り方を学ぼう、資源とリサイクル」と学生の皆さんが主体となった「素材の違いを調べよう」「銅の熱伝導を体感する実験」を実施した。

当日は悪天候にもかかわらず、想定以上の子どもたちが参加し、銅鉱石など実物に触れながら銅や他の金属について理解を深めた。



本号も銅に関する幅広いテーマをご紹介いたしました。2つの歴史ある建物。「水川神社」は 60 年ぶりの葺き替え、「伊勢神宮」は式年遷宮ごとに御装束神宝の銅製品が新調されてきました。銅の施工・加工技術が受け継がれてきたことが分かります。銅製品のメーカー訪問では、「銅電線」「暖房・エコキュート」「鉄道模型」と、用途や形状、サイズの異なる製品を見学しました。それぞれ銅の特性を生かし、素材の特徴に応じた使い分けや、高い加工精度を実現する製造技術に触れることができました。銅製品のユーザー訪問では、銅釜で製造されるこだわりの「鮎」を

見学。創業時から続く製法と、どろどろに溶けた鮎が印象的でした。日本銅センター賞は 2 件。受賞者の皆様、おめでとうございます。「水栓金具」の工場では、「3つの魔法」をわかりやすく説明いただきました。「銅版画」では、繊細な線の表現を生み出す技法が、まさに化学の世界であることを実感しました。銅が持つ多様な可能性を実感しました。これからも銅の特徴を生かしたもののづくりをご紹介します。

編集デスク 小澤 隆（日本銅センター）

〈委員長〉宇佐見隆行（古河電気工業㈱）
〈委員〉鉱山／和田久行（バンパシフィック・カッパー㈱）、牛久和彦（三菱マテリアル㈱）、吉本俊（日本鉱業協会）
伸銅／原田宗和（㈱神戸製鋼所）、根本優一（（一社）日本伸銅協会）
電線／斎藤春彦（㈱フジクラ）、石川真樹（（一社）日本電線工業会）
〈（一社）日本銅センター〉桑山広司、波多野英明、山本裕司、大久保清之、岩谷恵美子

News 01 日本銅センター 役員を選出

日本銅センターは、理事会において令和 8 年度の役員を選出した。役員は以下の通り。

新任	会長	池信 省爾	新任	副会長	加藤 和照	新任	副会長	井上 治
		三井金属株式会社 代表取締役社長			三井住友金属鉱山伸銅株式会社 代表取締役社長			住友電気工業株式会社 代表取締役社長
留任	専務理事	桑山 広司						
		一般社団法人日本伸銅協会 専務理事						

News 02 日本銅センター賞を選出 / 表彰

日本銅センターは、去る 2026 年 6 月 9 日、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにおいて第 53 回日本銅センター賞表彰式を開催した。受賞者は次の通り。

- ・株式会社 LIXIL
水まわり製品での銅合金の需要への貢献。
- ・中林 忠良（東京藝術大学 名誉教授）
長年にわたる銅版画表現の探求と技術の高度化、教育活動を通じて後進の育成など、銅版画芸術の発展に貢献。



News 03 「第 13 回高機能金属展大阪展 -METAL JAPAN-」に出展

日本銅センターは、日本伸銅協会と共同で 2026 年 5 月 13 日～15 日、インテックス大阪で開催された「第 13 回高機能金属展大阪展 -METAL JAPAN-」に出展した。

展示内容は「銅の超抗菌・抗ウイルス性能」「銅のリサイクルの現状」「銅素材・加工品に関する最新情報」の 3 項目。

CU STAR 認証製品、銅のフロー図とリサイクル原料、銅管・銅電線・銅製熱交換器・銅加工品などを揃え、PR を行った。

